

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第4回 栃木東部地域会議
開催日時	平成27年8月26日 開会18時57分 閉会19時55分
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	大橋 哲夫、大山 恵久、荻島 哲、柏崎 桂二、柏崎 章吉、 神田 誠司、神戸 透、後藤 英雄、島田 秀夫、 竹澤 克元、田中 雅人、千葉 義弘、藤本 紀子、谷中 俊太郎
欠席委員氏名	五十嵐 記代子、倉持 好則
事務局職員職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 出井 正一、 大宮公民館長 伏木 広安、地域まちづくり課 課長補佐 清水 孝之、 国府公民館主査 毛塚 隆
その他出席者等	
会議事項	・地域予算提案について ・認定まちづくり実働組織について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	1 開会 司会：出井所長
	2 あいさつ 柏崎会長
	3 議事
会長	・本日の出席委員数について、事務局から報告願う。
事務局	・本日の出席委員は14名である。なお、五十嵐委員、倉持委員からは所用のため欠席との連絡をいただいていることをお伝えする。
会長	・全委員の過半数であるため、本日の会議は成立している。
	(1) 地域予算提案について
会長	・事務局から説明願う。
事務局	・提案事業の担当課から見積書が届いたのが8月21日だったため、委員の皆さんに事前に資料を送付できなかったことをご了承いただきたい(資料1～7ページに基づいて説明)。
会長	・何かご意見があればお願いしたい。
委員	・大塚運動広場の休憩スペースの設置箇所は、資料の地図の位置で確定か。
事務局	・確定ではない。提案した委員に伺った大まかな位置を示している。
委員	・広場の利用者や運営委員の意見も聞いて、設置箇所を決めていきたい。
事務局	・皆様のご意見を伺って設置箇所を決めることにしたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国庁まつりの舞台は、最終的には屋根をつけるのか、または、コンクリート舗装で終わりなのか、確認したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・翌年度も、国庁まつり舞台の整備に予算をあてていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・限度額300万円にこだわると、どの事業も中途半端になってしまうかも知れない。今後市長が変わると廃案になるという懸念もある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後5年は続く制度として理解してよろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりで5年間は地域会議が継続される。さらにその後も続く可能性もある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、複数年度にわたる事業提案も出てくると思う。大宮運動広場の備品については、ベンチは6,000円くらいの組立式のものを使っている。使う側の意見を聞いて欲しい。折り畳みチェアは1つ980円で売っている。備品の値段をしっかりとチェックして欲しい。1つ4,000円くらいする折り畳みでない丈夫なチェアの購入も検討して欲しい。大宮運動広場は、普段はグラウンドゴルフやソフトボールで利用しているが、サッカーの生徒が利用した時に休憩スペースにスポーツバッグを40個並べていたら、後から来た普段の利用者たちが、自分たちの荷物を置く場所が無いことに立腹し、生徒たちを怒鳴り、生徒たちをびっくりさせたことがある。休憩スペースの中に、5段くらいの戸棚で、スポーツバッグ30個から40個くらい入るものがあるとよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案の備品の金額はカタログから載せたものなので、今後見積りをとって具体的に検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国庁まつり舞台のコンクリート舗装は、次の工事でその一部を壊す工事になるのか。会長はそういう工事に詳しいと思うが、どのように考えられるか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート舗装の脇に柱を立てるものならば、壊さずに次の工事ができるのではないか。舞台もお金のかけ方次第で簡単なものも作れる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・300万円の予算では、コンクリート、柱、屋根というふうに工事を分けないとできないのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国立競技場のように、設計はしたけど予算が追いつかないことになると困るので、そうならないような進め方をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の意見を担当課に伝え、協議していきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容としては事務局案のとおり、大宮運動広場の休憩スペースの設置と、国庁まつり常設舞台のコンクリート舗装でよいか。(一同了承)
会長	<p>(2) 認定まちづくり実働組織について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明願う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料8～11ページに基づいて説明) 実働組織を設立する期限はない。各地域の実働組織の設立状況としては、まず、栃木西部地域は3つの実働組織を作る予定だと伺っている。旧町にはまちづくり協議会が無いが、岩舟地域では静和地区で検討会を2回開いたと伺っている。栃木東部地域での実働組織をどうするかをご検討いただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域会議も板についてきたので、次に実働組織を設立して活動する上での説明があった。何か質問などあればお願いしたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料では、形式的にでも実働組織を作れば補助金がもらえるように読めるが、いくつかの団体を合わせないとダメだと思う。地域に持ち帰って、共同でやるもの、別々にやるものを話し合った上で、この会議で協議した方がよいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 地域に持ち帰って検討するということか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> そうしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今までの組織のまま補助金が出るのか。何かをプラスアルファしないといけないと思う。以前、各委員から提案事業を挙げた際に、実働組織でできる良い案がたくさん出たので、それらを実施できるような組織を作っていきたい。実働組織の新たな収入源をどう確保するかも含めて考えていきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局案は何かあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 私見だが、大宮と国府の二つのまちづくり協議会の構成団体をいくつか入れて、新たな事業も加えてまちづくりを活発にすることで補助金を受けられるものと理解している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 各まちづくり協議会は、総会を終えて今年度の予算は決まっている。今から新たな事業をやるとしても補助金が50パーセントしか出ないので、残りの50パーセントを協議会で用意するのは難しいのではないかと。新たな事業を始めるにしても、来年度からになるのではないかと。
会長	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会も今年度の活動が始まっているので、方向付けだけして、来年度のまちづくり協議会の総会に諮ることになると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 大宮のまちづくり協議会は設置されて1年くらいなので、国府と一つの実働組織を作るのは無理ではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> そんなことはない。大宮のまちづくり協議会も、行事や予算を決めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 先日のふれあいトークでは、強制ではないが徐々にまちづくりを一本化して欲しいとの話だったと理解している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいトークでは、大宮と国府のまちづくり協議会を一つにしてみてもどうか、との市の提案があった。今は効果の面では別々のままがよいと思う。今後大宮と国府の交流が深まり、将来的には自然に一つになる時期が来るのではないだろうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 一番人口が多い旧市内（栃木地域）にはまちづくり協議会が無く、旧町でもやっているとそうでないところがある。こうした現状を無視してやっているのが市の執行部のやり方だと思う。その点をふれあいトークで発言しようと思ったが、時間がなくて見送った。実働組織の補助金について、栃木東部地域は地区が2つだから補助率が2分の1なのか。栃木西部地域は地区が3つあるが補助率はどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域も全て同じ補助率なので、栃木西部地域で実働組織が3つできれば、それぞれに30万円まで補助されるので、3団体の合計で90万円となる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 既存の団体の今までの事業計画を作り直せば、新たな事業を足さなくても補助金が出るのか。出るのであればすぐにでも申請した方がよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 既存の事業をそのまま移行しても補助の対象にはなる。「地域づくり事業支援補助金」は「事業」に対する補助金なので、他からの補助がなければ可能となる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 菊まつりにも2分の1の補助が出るのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 可能だ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 補助が出れば、その分を他の事業に充てられる。

委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・田本自治会で老人会を立ち上げたら、補助金が出るか。 ・まちづくり実働組織は、多くの団体が集まった、まちづくり協議会のようなものを想定していた。単独の自治会には補助金はない。
委員 委員 事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会は、はつらつ事業などの別の補助金が出る。 ・大宮と国府は組織上一つになれということなのか。 ・一つになれば補助金が多く出る、ということをして市長がふれあいトークで申し上げた。 ・まちづくり協議会がないところには補助金を出さないと言っているのと同じだ。まちづくり協議会がないところもあるという実状を踏まえ、まちづくりは一つになるとか言うのは矛盾している。16万都市にも拘らず半数以上でまちづくり協議会がないのに一つにまとまっていくという発言をしている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・実働組織については、それぞれ地域に持ち帰って話し合い、改めてこの会議で検討したい。
会長 事務局 委員 会長 事務局	<p>(3) 栃木市地域自治交流会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明願う。 <p>(資料12ページに基づいて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブアリーナは、小野産業の近くの建物のことか。(一同肯定) ・今日の会議で決まったことを交流会で提案するのか。 ・本日了承をいただいた事務局案をもとに計画書を作成し、来月の会議で委員の皆さんに諮って、その後市長へ提出となる。
会長 事務局	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から何かあれば、説明願いたい。 ・栃木東部地域会議から提案される事業については、9月20日頃発行の栃木東部地域会議だより第2号で、地域の皆さんに周知したい。
	<p>4 その他</p> <p>(1) 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回会議 9月16日(水)午後7時(国府公民館)